

TEEN's BOOK LETTER

from Sakyo & Iwakura Library

2025年7月発行 37号



岩倉図書館

開館 30 周年記念

特別号

左京・岩倉図書館の共同発行は、今号で最後となります。

(公財)京都市生涯学習振興財団

京都市左京図書館

〒606-8103

京都市左京区高野西開町 5

左京合同福祉センター2階

TEL: 075-722-4032

開館日: 平日 9:30~19:00

土曜日 日曜日 祝日 9:30~17:00

休館日: 火曜日 (火曜が祝日の場合は翌平日)

京都市岩倉図書館

〒606-0013

京都市左京区岩倉下在地町 16

TEL: 075-702-8510

開館日: 月曜日 水曜日 金曜日

土曜日 日曜日 祝日 9:30~17:00

木曜日 11:30~19:00

休館日: 火曜日 (火曜が祝日の場合は翌平日)

～今号特別企画～

ティーンズのお悩み解決!?

司書が紹介する
30 冊

こんな時にはこの本で!

「こんな時は、どんな本を読めば良いのかな?」

そんな風に思ったこと、ありませんか?

今回は、ティーンズのみなさんのために、6つのテーマをご用意しました。

岩倉図書館開館**30**周年にちなんで、

合計**30**冊の本を紹介させていただきます!

将来の仕事に
ついて知りたい

10代が読んでも
わかりやすい経済の本は?

友達関係に悩んでいます。
手助けになる本は?

夏にぴったりの小説は?

ティーンズに
おすすめの絵本は?

部活に関する本が読みたい

★ティーンズブックレターで使用している画像は、出版社の許可を得て使用しています。



将来どんな仕事をしようかを考える時に、
参考になるおすすめの本はありますか？

『小学校教諭になるには』

森川輝紀/編著 山田恵吾/編著
(ペリカン社)



『なりたい自分との出会い方
世界に飛び出したボクが伝えたいこと』

岡本啓史/著
(岩波書店)

『クリエイターのハローワーク
ものづくり業界と職種がわかる本』

ビーコムプラス/著
(マール社)

みなさんは、将来どんな仕事をしたいか、色々想像したことがあると思います。その中で、楽しみに思うこと、不安に思うこと、様々な感情が出てきているのではないのでしょうか。大切なことは、周りに流されず、いかに自分らしく生きることができるか、ということです。著者は国内外問わず、様々な経験を積んでおられ、この本を読めば、将来設計の選択肢が見えてくるかもしれません。きっとみなさんの助けになる一冊です。

『国家公務員の仕事図鑑』

-みんなが憧れるプロフェッショナルの世界-
公務員試験予備校 EYE/編
(中央経済社)

『仕事を選ぶ 先輩が語る働く現場 64』

朝日中学生ウイークリー編集部/編著
(朝日学生新聞社)



経済の勉強をしたいけど、10代が読んでも
わかりやすい経済の本ってありますか？



『12歳の少女が見つけたお金のしくみ』

-小学6年生がやさしく解き明かした経済学の基本-

泉美智子/著 水元さきの/漫画 モドロカ/イラスト 佐和隆光/監修 久谷理紗/原案
(宝島社)



みなさんは、最近ニュースなどで「物価高」という言葉を耳にしたことはありませんか？「経済なんて、私にはわからないから」と言って、聞き流していたりしませんか？また、物価高という言葉を知って、経済に興味・関心を抱いた方もいるのではないのでしょうか。この本は小学6年生のレポートから生まれた本で、豊富なイラストや漫画があり、読みやすい本となっています。

-今の君から将来の君自身へ-

『10代のためのお金と投資』

大泉書店編集部/編
(大泉書店)

『親子で学ぶお金と経済の図鑑』

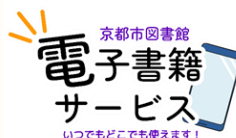
子どものための「お金と経済」プロジェクト/著
(技術評論社)

『高校生からの経済入門』

中央大学経済学部/編
(中央大学出版部)

『高校生のための税金入門』

小塚真啓/編著
(三省堂)



スマホ・タブレットで本を読もう！
どうやって使うの？どんな本があるの？
詳しくはウェブサイトで！

<https://web.d-library.jp/kyotocity/>





学校で友達関係に悩んでいます。
手助けになるような本があれば知りたいです。(小説含む)



『友だちってなんだろう?』-ひとりになる勇気、人とつながる力-
齋藤孝/著
(誠文堂新光社)



仲良くしていた友だちから急に冷たい態度をとられたら?ひとりが好きなら友だちはいなくてもいいのか、気の合う友だちとだけ過ごせたら、対人関係のストレスは減るのか…。あれこれ尽きない悩みに、著者が10代に伝わりやすい言葉で解説します。「学校は人慣れの練習場」「友だちとは、一緒にいて楽しくて、笑顔になれる、元気になる存在」「友だちになれそうにない人とも、おだやかな関係を築く」など、ぼんやりと認識していた対人関係の本質に気づかされる、大人の私にも刺さる本でした。

『クラスメイツ 前期・後期』

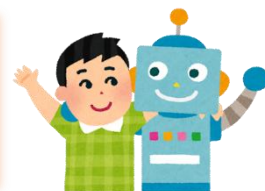
森絵都/著
(偕成社)

『きみの存在を意識する』

梨屋アリエ/著
(ポプラ社)

『やなやつ改造計画』

吉野万理子/著
(あすなろ書房)



『そしてぼくらは仲間になった』

小嶋陽太郎/作 高森美由紀/作 福島直浩/作 虹山つるみ/作 向井湘吾/作
(ポプラ社)



夏にぴったりの小説が読みたい!



『恐竜がくれた夏休み』
はやみねかおる/作 武本系会/絵
(講談社)



『永遠の夏をあとに』
雪乃紗衣/著
(東京創元社)

『サンドイッチクラブ』

長江優子/著
(岩波書店)

恐竜が現代にやってきた?!
退屈な夏休みを過ごしていた美亜たちは、夜のプールで首の長い恐竜の口ロに出会う。なぜ、絶滅したはずの恐竜が現代に現れたのか、謎を解き明かすための、ひと夏の冒険がいま始まる。そして、口ロが現代の私たちに伝えたかったメッセージとは――
夏休みの読書にぴったりの一冊です。

『黄色い夏の日』

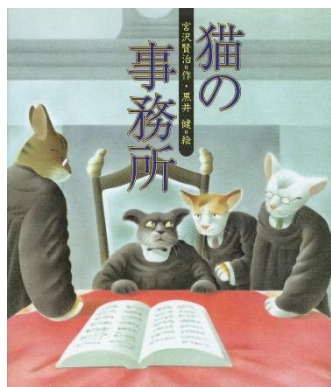
高樓方子/著 木村彩子/画
(福音館書店)

『夏休みルーム』

はやみねかおる/著 しきみ/画
(朝日新聞出版)



ティーンズにおすすめの絵本はありますか？



『猫の事務所』-ある小さな官衙に関する幻想-

宮沢賢治/作 黒井健/絵
(偕成社)



地理や歴史を調べる小さな事務所が、ある日、廃止になります。その理由は…。猫たちの姿を通して描かれているのは、周りと少し違うだけで、仲間外れにしようとする、ぎくしゃくとした職場です。黒井健の絵は、その場の雰囲気をも的確に表しています。最後の「そんなことで地理も歴史も要ったはなしでない。」という言葉は胸に響きます。なお、終わり方が初期の原稿では違っていました。『新編 銀河鉄道の夜』(新潮文庫)の「収録作品について」で紹介されています。



『300年まえから伝わるとびきりおいしいデザート』

エミリー・ジェンキンス/文 ソフィー・ブラッコール/絵 横山和江/訳
(あすなろ書房)

『おとうさんのちず』

ユリ・シュルヴィッツ/作 さくまゆみこ/訳
(あすなろ書房)

『女王さまのぼうし』

スティーブ・アントニー/作 せなあいこ/訳
(評論社)

『船を見にいく』

アントニオ・コック/作 ルーカ・カインミ/絵 なかのじゅんこ/訳
(きじとら出版)



部活に関する本が読みたい！



『氷菓』

米澤穂信/著
(KADOKAWA)



『翼を持つ少女』

-BIS ビブリオバトル部 [1]-
山本弘/著
(東京創元社)

「わたし、気になります」——その一言から、日常の謎が動き出す。
省エネ主義の高校生・折木奉太郎は、姉からの頼みを受けて、廃部寸前の古典部に入ることになった。そこで出会った好奇心旺盛な千反田えるに振り回されながら、学校生活の中に潜む小さな謎を解き明かしていく青春ミステリー。
そして「氷菓」に込められた真実とは…。

『凧として弓を引く』[1]-[4]

碧野圭/著
(講談社)

『部長会議はじまります』

吉野万理子/作
(朝日学生新聞社)

『響け! ユーフォニアム』[1]-[3]

武田綾乃/著
(宝島社)

